



2025年2月12日

各位

会社名 株式会社日本エム・ディ・エム
代表者名 代表取締役社長 弘中 俊行
(コード番号 7600 東証プライム)
問合せ先 IR室 棟近 信司
(03-3341-6705)

CDP2024 気候変動に関する調査において「B」、 水セキュリティに関する調査において「B-」評価に認定

株式会社日本エム・ディ・エム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：弘中 俊行）は、国際的な環境評価の情報開示システムを運用する CDP から、気候変動によるリスクや影響を管理している企業として、昨年度より1段階上にあたる「B」スコア（マネジメント）に認定されました。また水セキュリティに関しては、「自社の環境リスクや影響について把握し、行動している」と評価されたことを示す「B-」スコア（マネジメント）に認定されましたのでお知らせします。

記

CDP は、世界の主要企業の環境活動に関する情報を収集・分析し、気候変動に対する企業の取り組みを8段階で評価しています。当社は、「最先端の優れた医療機器の開発と販売を通じて、医療に貢献する」という経営理念のもと、気候変動への対応もマテリアリティの一つとして捉えており、シナリオ分析、気候変動に伴うリスクと機会を評価し、TCFD 提言に従い4つの開示推奨項目に沿った情報を開示しています。また、2020年度のスコープ1、2におけるGHG排出量を基準とし、国内における2030年度の削減目標を2020年度比30%削減、2050年度には「GHG排出量ゼロ」にすることを目標として掲げています。



ESG 活動を通して企業の社会的責任を果たすと共に、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献すると同時に持続的成長を追求してまいります。

関連資料：当社のサステナビリティに関する取り組み

<https://www.jmdm.co.jp/sustainability-action/>

国際的なイニシアティブへの取り組み

<https://www.jmdm.co.jp/sustainability-action/ungc/>

以上